



梅雨型熱中症に要注意！！

例年梅雨の明け近くに気温がどんどん上昇することから急増する熱中症。
今年梅雨に入る前から高気温が続いているためさらなる注意が必要です。



「梅雨型熱中症」はなぜ起こる??

- ・湿度が高いため汗をかきにくく、**体温調整がうまくできない。**
- ・水分不足に気が付きにくく、**脱水症状になりやすい。**
- ・雨が降り気温が下がる間に**暑熱順化がリセット**されてしまう。



気が付かないうちに体温が上昇し続け、
「ちょっと具合が悪いけど休むほどではない」の状態が
いつの間にか重度の熱中症に！

「梅雨型熱中症」の対策

- ・室内にいても、こまめに**水分補給**をする。
- ・室温が低くても湿度が高いときには**エアコン**を利用する。
→サーキュレーターや扇風機も効果的！

関東の梅雨入りは6
月22日～23日と予想
されているよ！
(6.20時点)
しっかり対策して梅
雨を乗り越えよう！



【今号の主な内容】

- P① 梅雨型熱中症に注意
- P② 全国安全週間実施要領
- P③ ふくらはぎストレッチ
- P④ 宮崎営業所案内・次回案内



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL: 03-3572-1866

宮崎営業所を開設いたしました！！

令和6年6月16日宮崎市に野田工業(株)宮崎営業所を開設いたしました。
これからは九州・沖縄エリアにも仕事の幅を広げていきたいと思っております。
協力業者の皆さま、材商の皆さまには今後も変わらないお取引のほどよろしくお願
いいたします。

住所 〒880-0012 宮崎県宮崎市末広2-2-3
連絡先 070-4027-4054
Mail y-ogawa@noda-kogyo.co.jp

営業所長 関口 浩司
営業担当 小川 裕二



営業担当 小川

宮崎営業所には私が常駐しています！
宮崎にお越しの際はぜひお立ち寄りください！

安全
第一

【安全大会のお知らせ】

表彰状

【日時】 2024年7月6日(土)開催

15:00～ ボーリング大会
16:30～ 安全大会
18:00～ 懇親会

【会場】品川プリンスホテル

【集合時間・場所】

ボーリング大会参加者

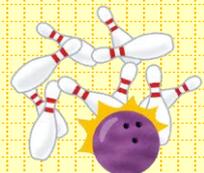
14:30 アネックスタワー1F ボウリングセンター受付前

※会場内に入る前に必ずレーン表を受け取ってください。

安全大会参加者

16:00 メインタワー12F シルバー12

※会費は安全大会の前に申し受けます。(1名 2,000円)



かかとをつけて しゃがめますか??

かかとを床につけた
まま両ひざを抱えて
しゃがめない人は
要注意!!

ふくらはぎは「第2の心臓」

ふくらはぎは歩く・走る・飛ぶなどの動作をサポートすると同時に下半身の血流を心臓に送る役割があります。

ふくらはぎの筋肉が硬くなると、ちょっとした段差でつまづく原因に！

日々酷使しているふくらはぎのストレッチをちゃんと行い、転倒災害を予防しましょう！



ふくらはぎの筋肉を収縮させる

10回繰り返す

①椅子に座ってつま先が膝の真下にくるように足を腰幅に開く。両ひじをひざの上に乗せて体重をかける。

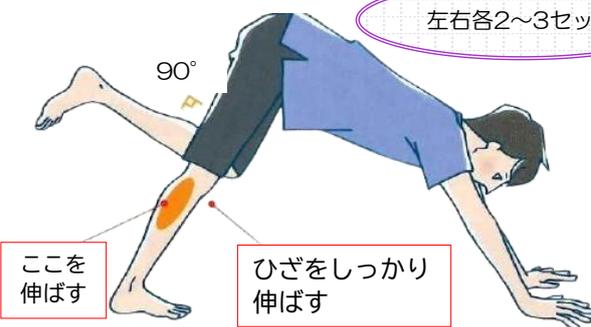
②体重をかけたまま、足指の下の部分で床を踏んでかかとをゆっくり持ち上げ、ゆっくり下ろす。

かかとの上げ下げに応じて全体が上下すればOK



左右各2~3セット

ふくらはぎ上部の筋肉を伸ばす



①両手と両足を肩幅に開いて床につけ、お尻を上げる。

②片足のひざを90度くらいに曲げて浮かせ、反対側の足のかかとで床を押してしっかりと伸ばし、腕に体重を乗せる。息を吐きながら20~30秒。

ふくらはぎ下部の筋肉を伸ばす

左右各2~3セット

①床に正座して片ひざを立てる。

②立てた足に胸をつけ、両手を体の前につく。かかとが浮かないようにしながら上体を前に倒し、立てた足に体重をかける。息を吐きながら20~30秒。



令和6年度全国安全週間実施要領

本週間

7月1日～7月7日

準備期間

6月1日～6月30日

令和6年度スローガン

危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全

会長メッセージ

令和6年度の全国安全週間を迎えるにあたりご挨拶を申し上げます。

全国安全週間は昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、一度も中断することなく続けられ、今年で97回目を迎えます。この取組は、我が国における労働災害防止活動の推進に欠かせないものであり、労働者の安全意識の高揚及び安全活動の定着に貢献してまいりました。

令和5年の建設業における労働災害は、会員をはじめ関係各位の弛まぬご努力により、死亡者数は212人(令和6年3月速報値)と当協会が設立された60年前と比べると約1/10と大幅に減少してはおりますが、依然として全産業の約3割を占めております。

また近年、建設業は、働き方改革の推進、建設従事者の高齢化の進展、担い手の確保・育成など、様々な課題が山積する状況にあります。

一方、台風に伴う洪水・土砂災害や本年元日に発生した令和6年能登半島地震など多くの自然災害が発生し、建設業は復旧・復興の最前線で道路啓開やインフラ整備の作業にあたるなど、地域社会の安全・安心の確保を支える「地域の守り手」として、社会に欠かすことができない存在となっています。

これらの状況を踏まえると建設業における安全な職場環境の形成は益々重要なものとなっています。

本年は、当協会が策定した第9次建設業労働災害防止5か年計画の2年目にあたります。同計画に掲げた目標の達成を目指し、建設業に携わる方々が安全で安心して働けるよう、当協会の各種事業を積極的に取り組んでまいりますので、関係各位のご協力をお願い申し上げます。

会員各位におかれましては、令和6年度の全国安全週間の準備期間及び本週間において取り組むべき事項をまとめた本実施要領を参考に、経営トップの強力なリーダーシップの下、関係者が一丸となって現場での自主的な安全衛生活動をより一層推進していただけますようお願いいたします。

令和6年6月

建設業労働災害防止協会会長 今井雅則

